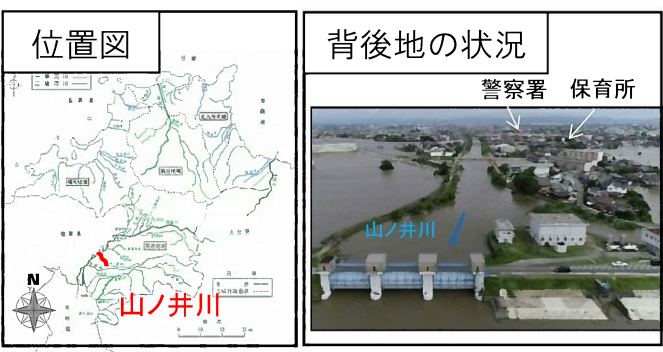




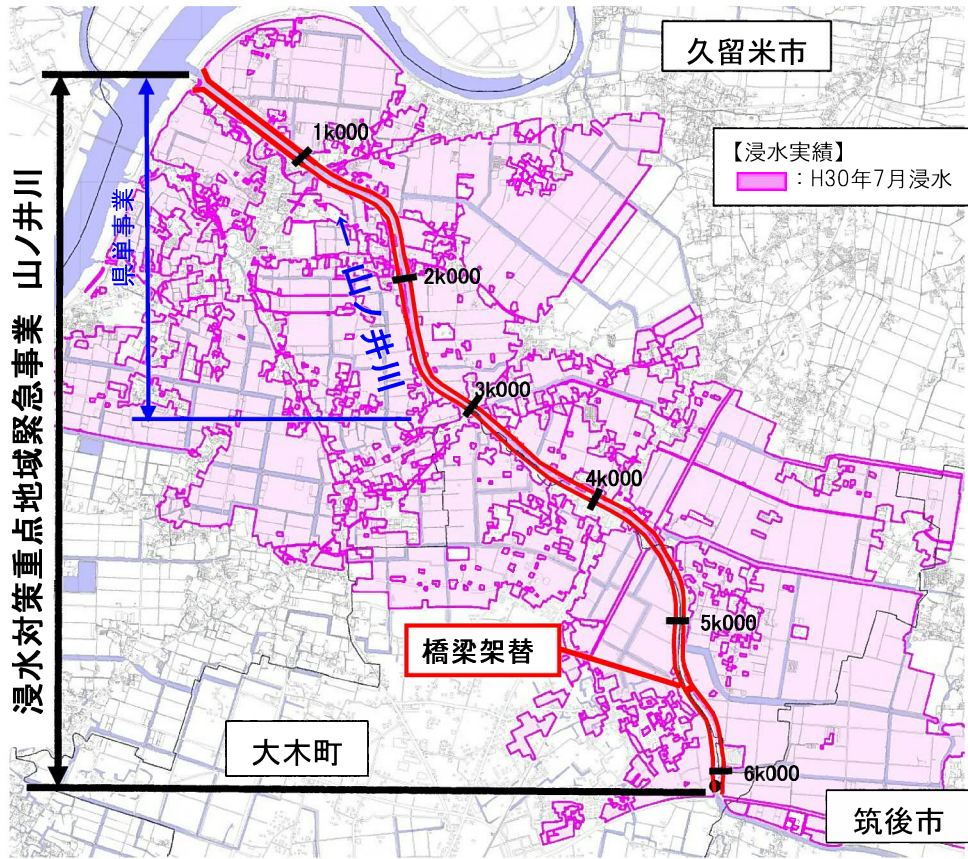
福岡県では平成30年7月豪雨において県内の広い範囲で記録的豪雨を観測した。
 筑後川水系山ノ井川では、筑後川本川水位の上昇に加え、最大48時間雨量383mmの降雨により越水・溢水し、床上浸水15戸、床下浸水142戸の広範囲に渡る浸水被害が発生した。また、当該河川は、平成24年7月等の洪水においても浸水被害を受けている。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、堤防嵩上げ、橋梁架替等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。



浸水被害状況

洪水名	浸水家屋(戸)		浸水面積 (ha)
	床上	床下	
H21.7洪水	0	2	0.14
H24.7洪水	139	868	2,850
H30.7洪水(※)	15	142	1,382

※山ノ井川の影響によるもの



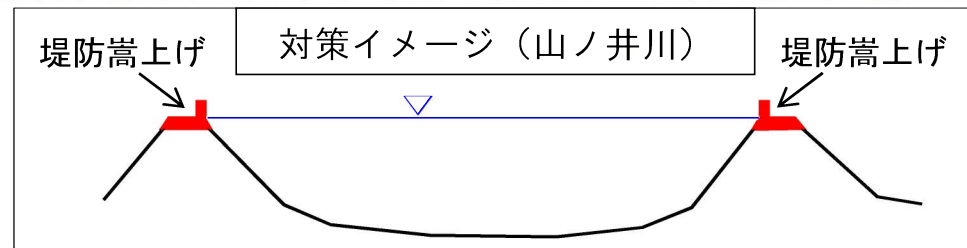
- 〈都道府県等の独自事業〉**
- 県・市単独事業との連携**
 - ・県：筑後川実績水位を踏まえた堤防嵩上げ
 - ソフト対策**
 - ・県：危機管理型水位計設置
：簡易監視カメラ設置
 - ・市：水門開閉状況のHP公開
 - 適切な維持管理**
 - ・県：河道の長寿命化計画策定



H30.7 床上浸水の痕跡状況



2018年7月7日14時18分
 九州地方整備局ヘリコプターから撮影
 H30.7 浸水被害状況



【全体計画】
 河川名：一級河川筑後川水系山ノ井川
 事業内容：堤防嵩上げ等
 全体事業費：約24億円
 事業期間：2019年～2023年

【平成31年度実施】
 実施内容：堤防嵩上げ等
 事業費：620百万円(国費310百万円)

※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の用途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではない。